



TITLE:

汐見三郎先生の逝去を悼む

AUTHOR(S):

中谷, 実

CITATION:

中谷, 実. 汐見三郎先生の逝去を悼む. 経済論叢 1963, 91(3): 223-224

ISSUE DATE:

1963-03

URL:

<https://doi.org/10.14989/132933>

RIGHT:

經濟論叢

第九十一卷 第三號

故 汐見三郎博士遺影

オーベル・シュレージェン

製鉄業の再編過程……………大 野 英 二 1

プレハーノフの

ロシア資本主義論(三)……………田 中 真 晴 26

セルデン特許と

Electric Vehicle Co. ……………岡 田 賢 一 49

故 汐見三郎博士略歴・主要著書論文目録……………61

追憶文(中谷 実・柏井象雄・田杉 競)

昭和三十八年三月

京 都 大 學 經 濟 學 會

追憶文

汐見三郎先生の逝去を悼む

中谷 実

一九五八年の初夏、私はロンドンで、汐見先生がおられたという噂を耳にした。確かめるすべもなくよもやと思うので、そのまま旅をつづけたが、東京に着いた足で東大病院を訪ね、病床に眠られる先生をみたときには、さすがに強いショックをうけた。平素は健康でとくに血圧には注意しておられたから、このようなことになるとは想像もしなかったからである。京都に帰られてからは、一途に再起を念願せられ涙ぐましいほどの養生をつづけられたが、ついにその願いがかなえられず、旧冬十二月四日未明に永眠せられたのである。

財政学者としての汐見先生の名が、学界においてどれほど大きかったかは、ここで改めて述べるまでもない。また税制の研究で、学界のみならず政府や民間に多大の貢献をせられたことも、周知のことからである。ここではただ、弟子の眼に浮ぶ恩師の片影を偲ぶに止めよう。私がまず先生に敬服することは、先生の仕事がつねに時代から一歩前進していたということである。財政学者である先生は、同時に統計学の造詣も深く、統計

の利用に優れた業績を残しておられる。それは財政全般にわたるが、とくに国民所得と租税負担に関する研究は、しばしば財政政策に指針を与え民間業界に利用せられたのであった。こんにち経済学の研究において、いわゆる実証的研究はもっとも効果的な研究方法として広く用いられているが、先生はわが国におけるこの方面の先駆者の一人であった。また、私が金融の研究を始めたころ、先生は私に、公債の起債や償還が国民経済に及ぼす影響を研究してみてもどうかと、しばしばサジェストして下さった。その当時私は、先生のように資料を集める便宜ももたず、他の問題に興味をもってもいたので、直ちに研究を始めることをしなかったが、近年におけるこのような研究の重要性をおもうと、先生の先見に頭の下る思いがするのである。

教育者としての汐見先生は、愛情の深い親しみやすい人であった。私は、学生時代を先生の演習生として送り、研究生活に入ってから先生を指導教授としたのであるが、数十年にわたる師弟関係において、忠告や鞭撻はしばしば頂いたが、叱られたことは殆んど記憶にない。つい他に氣をとられて研究を怠るようなことがあっても、先生は「無理な勉強をして健康を損うことのないように」と注意せられる。そしてこのような忠告が嫌味にきこえないで、かえって強い鞭撻効果をもつのであった。もちろん、研究上の仕事は遠慮なく仰せつけられたから、時としては抵抗感を禁じえなかったこともあり、今日の若い研究者

故汐見三郎博士追憶文

からみれば、いかにも封建的な師弟関係にみえるかもしれないが、その代りに、私どもがどのようなことを願ひ出ても、できるかぎりそれが実現するように努力して下さった。

ここでは、恩師としての汐見先生にたいする私の個人的な思い出を述べたのであるが、数多い先生の教え子達のうちには、これに共感して下さる人も少なくないと考える。学問の進歩は速く、かつては先端を進んだ先生の業績も、今日ではあるいは陳腐にみえるものがあるかもしれない。けれども、先生にしてもしも健在ならば、必らずや学界のリーダーとして、後進に指針を与えて下さるだろうし、私どももどれほど心強いかわれぬ。齢古稀に達せられぬ先生を失ったことは、まことに痛恨に堪えぬ次第である。